

会 議 録

|                                     |                                                                                                                                                                             |                                 |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 会 議 の 名 称                           | 平成 2 6 年 度 第 6 回 行 田 市 子 ど も ・ 子 育 て 会 議                                                                                                                                    |                                 |
| 開 催 日 時                             | 平成 2 6 年    1 1 月    2 0 日 (木)<br>開会：    1 3 時 3 0 分・閉会：    1 5 時 3 0 分                                                                                                     |                                 |
| 開 催 場 所                             | 行 田 市 中 央 公 民 館 第 3 会 議 室                                                                                                                                                   |                                 |
| 出席者（委員）<br>氏                      名 | 馬 橋 正 芳          清 水 与 志 雄<br>石 井 直 彦          小 城 幸 子          桑 原 宏 安          園 部 浅 子          馬 場 恵 喜 子<br>島 田 卓 史          堀 内 規              山 村 利 子          増 田 節 子 |                                 |
| 欠席者（委員）<br>氏                      名 | 出 井 英 夫          羽 鳥 英 樹          横 田 康 介          中 澤 左 衛 子                                                                                                                |                                 |
| 事      務      局                     | 子 育 て 支 援 課    藤 間 参 事、細 谷 主 幹、島 田 主 査、藤 倉 主 査                                                                                                                              |                                 |
| 会 議 内 容                             | 1    開 会<br>2    議 事<br>議 題 1    子 ど も ・ 子 育 て 支 援 事 業 計 画 の 策 定 に つ い て<br>議 題 2    利 用 者 負 担 額 に つ い て<br>議 題 3    そ の 他<br>3    閉 会                                      |                                 |
| 会 議 資 料                             | （資料名・概要等）<br>◎ 事前配布資料<br>資料 1：（仮称）行田市子ども・子育て支援事業計画（素案）<br>◎ 机上配布資料<br>資料 2：行田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の徴収に関する条例（案）<br>資料 3：新利用者負担額（案）に基づく階層分布<br>資料 4：平成 26 年度保育料徴収等調査結果 |                                 |
| 会 確<br>議<br>録<br>の<br>定             | 確    定    年    月    日                                                                                                                                                       | 主    宰    者    記    名    押    印 |
|                                     | 平成 2 6 年          月          日                                                                                                                                              | ㊟                               |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等）                                                                                                                                                                                 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 馬橋会長  | <p>1. 開会</p> <p>紅葉の季節も過ぎてしまい、寒さも増している。国の方では消費税増税が先延ばしになった。新制度がどうなるかはわからないが、与えられた役割を果たしたい。</p> <p>2. 議事</p> <p>議題1 子ども・子育て支援事業計画の策定について</p> <p>○子ども・子育て支援事業計画の策定について、事務局より説明が行われた。</p> <p>（資料1）</p> |
| 清水副会長 | <p>5章の任意記載事項は削除し、「施策の方向」の中に盛り込むということだったが、言葉だけで言われるとわからない。一覧で示せなかったのか。</p>                                                                                                                          |
| 事務局   | <p>変更点のわかる資料をお示しする。</p>                                                                                                                                                                            |
| 石井委員  | <p>特に33頁の虐待防止の充実など、非常に抽象的に書かれている。これでは本当に子育て支援という形が取れないと思う。具体的にどんな手段をとっていくか、書いてくれないと子育て支援にならないのでは。</p>                                                                                              |
| 事務局   | <p>具体的な施策内容が展開されていない点は再検討したい。</p>                                                                                                                                                                  |
| 石井委員  | <p>39頁以降の需要予測は、地域間格差が出てくるのではないか。地域ごとの予測を立てていかないと、支援策にならないのではないか。意見ということでよい。</p>                                                                                                                    |
| 事務局   | <p>確保方策については単一区域でいきたい。</p>                                                                                                                                                                         |
| 清水副会長 | <p>4章にはすでにやっていることがたくさん載っている。今やっているもの、これからやっていくものがわかるとパブコメでも意見を出しやすい。何をやっていなくて、これから力を入れていくかがわからないと、評価をする時にも困ってしまう。そういうことのわかるようなリストアップをしていただきたい。</p>                                                 |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局   | リストの添付など検討したい。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事務局   | この計画はあくまでも事業計画である。これをどう実施していくかは、各年度の予算をとるもので、これは大まかな方針を示したものである。                                                                                                                                                                                                                       |
| 清水副会長 | 実際実現していく上では、事業等の担い手に周知したうえで、市が考えていることを理解してもらうべきであろう。これを示す以上は、具体的な提案を示していく、道筋を示していく、ということが大事だと思う。現場で生かされていくためには、こういうことをやっていこうということが示されないとならない。目標を示すだけでなく、これをどう実現していくのかということを示してほしい。動きが出てきて初めて生きてくる。一番大事なのは市民に周知徹底するためのわかりやすさだろう。これはできている、これはできていない、これが課題である、ということがわかりやすくなると、一番よいのではないか。 |
| 事務局   | 事業計画の案については事務局で作成した。委員の意見は会議で出していただき、反映させていくのがよいと思う。ただし時間の関係もある。できればこの会議の場でも出してもらうことがよい。                                                                                                                                                                                               |
| 園部委員  | この計画は抽象的なものと具体的なものが混在している。たとえば食育については公立保育園の取り組みがあり、これだと私立はどうするのか、と思う。一方で、推進します、図ります、というのが混在している。                                                                                                                                                                                       |
| 事務局   | 具体的にできることは具体的に書き、具体的に書けないことは抽象的になってしまっているのは事実。そのことも踏まえて、今日は意見をいただき、また持ち帰っていただいて、調整しながらやっていきたい。                                                                                                                                                                                         |
| 増田委員  | 先ほどの回答で、まずはこれを素案として通して、計画期間に入ってから、細かいこと、具体的なことは、その時々で決めるという話があった。それでもよいと思うが、どういう体制で市民や保護者などが意見を出したらよいか、要望したらよいかという体制が一番大事なのではないか。困っている時は民生委員もいて、相談の窓口もあるが、相談の窓口も、いざ相談したい時に開いていないこともあ                                                                                                   |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>る。簡単にはいかない。そういう市民の意見を、民生委員などの役をしている人を通じて市へ持っていけるような形にすることを希望する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事務局   | <p>虐待の相談など、具体的には載っていない。事業計画の前提としてニーズ調査をやり、その確保方策を示していくことになっている。それを実現していく中で、民選委員さんの活用などを盛り込んでいければと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                |
| 増田委員  | <p>自治会長を通して直接市役所の、関係部署に意見が通ればよいと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事務局   | <p>事業計画というのは、子育て支援に限っているもの、基本的な方針を定めるものとさせていただいている。相談窓口については、計画を持ち帰ってもらって、再度この場で検討させていただければと考えている。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
| 清水副会長 | <p>26 頁の連携先の紹介については、公立と限定している。その下の絵本の読み聞かせも公立とわざわざ書かれている。これでは公立保育園の計画ではないか。市が責任を持てることだけ書いてあるということになると、行田市全体の計画にはならないのではないか。私立保育園の利用者も同じ納税者である。たしかに、今すでにやっていることだと思うが、それは取り立てて今計画に書くことではないのではないか。各論で書くのはかまわないが、これからこうやっていくという方針を示すのであれば、事業計画に書くのはふさわしくないのではないか。こういう課題があり、だからこういうことをやっていくということを示すべき。一番重要なのはわかりやすさだろう。これは要望なので回答は不要である。</p> |
| 園部委員  | <p>確認したい。24 頁の基本目標と基本的視点の関連の中で、ナンバー 1 ～ 3 がついているが、これが何番に該当するかをもう一度教えてほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局   | <p>①は 1、6、7、②は 2、3、4、③は 1、5、6、7 になっている。一つのところに含まれているわけではないということは申し上げた通りである。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 園部委員  | <p>社会性の向上や自立というのは、どこに関連しているのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局   | 教育・保育や、児童センターでのスポーツなどで社会性の向上が図られると考える。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 園部委員  | 私見になるが、子どもの視点はあまり見受けられないと思う。また、社会的自立の前に健全育成が必要と思うが、見受けられない。                                                                                                                                                                                                              |
| 事務局   | 少年団などで健全育成が図られると考えている。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 園部委員  | 具体的な施策を見ても、児童の健全育成がすごく小さくなっていると思う。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局   | 今のご意見は、基本的視点の文言に健全育成を含む文言を追加するとともに、施策1の中でも薄いということだったので、再検討したい。                                                                                                                                                                                                           |
| 園部委員  | 前回の資料では、24頁の子どもの健康増進に思春期のことがあったが、今回抜けているのはなぜか。                                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局   | 担当部署に確認したところ、現在は大人向けの相談事業と一緒に実施しているとのことだった。そのため、現在ここに該当する取り組みがないとのことで、抜いている。                                                                                                                                                                                             |
| 園部委員  | 10月17日の新聞で、小学生の暴力、いじめ、登校拒否が増えているとの記事があった。思春期の相談を大人と一緒に扱ってよいのか。施策からも外してしまうのはどうなのか。                                                                                                                                                                                        |
| 事務局   | 検討する。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 清水副会長 | 今のやりとりでわかったことは、現実存在している窓口でやっていることを前提として外したということだ。そういう発想では困る。必要に応じてやらねばやらないことを書くのが事業計画である。また、ユニバーサルデザインなどの用語が載っている。〇〇にもとづきという書き方になっているが、すぐに参照できなければ意味がない。参照できるようにしておいてほしい。今はネット時代なので、ワンクリックでアクセスできる。参照先を示してくれるだけでよい。また、どこかにメール配信とあったが、誰が配信するのかもわからない。ネット時代に対応した書き方にしてほしい。 |
| 石井委員  | 50頁の、達成状況の評価をしやすい出し方にしてほしい。                                                                                                                                                                                                                                              |
| 園部委員  | 企業や事業所の子育て支援については、どのように示されているか。                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局   | 31頁の施策の5-1に盛り込んでいる。1)の3点目、2)の2点                                                                                                                                                                                                                                          |

|        |                                                                                                                                                                                                              |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 園部委員   | 目である。                                                                                                                                                                                                        |
| 事務局    | こういう部分に、乳幼児や低年齢児の親の働き方について、企業が理解できるようにしてもらうための考え方が盛り込まれるとよいなと思う。                                                                                                                                             |
| 園部委員   | 検討する。                                                                                                                                                                                                        |
| 事務局    | 細かいことでお聞きしたいこともたくさんある。たとえば 25 頁、市内 8 か所の保育園とは何か。                                                                                                                                                             |
| 清水副会長： | 細かいことも含めて次回ご意見をいただきたい。                                                                                                                                                                                       |
| 事務局    | 消費増税が見送りになった。新制度の予算も限定的になるだろう。昨年の今頃は、文科省は 100%移行させると言っていたが、県内では移行するとこども園で 5,000 万円の損をするとされている。新制度への不信感がある。変化への不安があるということを申し上げて、柔軟性のある文言を考えていただければと思う。5 年間に大きな変化がないとも思えない。子育て支援の予算がこれからどうなるかもわからない。配慮をお願いしたい。 |
| 馬橋会長   | たしかに新制度自体が危ぶまれている。その点も加味して盛り込んでいければと思う。                                                                                                                                                                      |
| 事務局    | 本件は、次回また検討したい。                                                                                                                                                                                               |
| 事務局    | 今日の資料は持ち帰っていただいて、次回、意見をいただきたい。事務局では本日の意見を集約して修正したものを事前に配りたい。次回の会議ですり合わせていこうと考えている。                                                                                                                           |
| 馬橋会長   | <p>議題 2 利用者負担額について</p> <p>○利用者負担額について、事務局より説明が行われた。</p> <p>(資料 2・3・4)</p> <p>ただ今の説明について承認いただける方は挙手を。全員なので承認とさせていただきます。</p> <p>議題 3 その他</p>                                                                   |

|     |                                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>次回の日程を調整したい。12 月の 15 日、19 日のどちらかとさせていただきます。</p> <p>4 閉会</p> |
|-----|----------------------------------------------------------------|